

**新型コロナウイルス感染症にかかる  
病床確保計画  
(令和3年7月○日改定案)**

# 病床確保計画の改定について

## ● 病床確保計画(令和2年7月10日策定・10月14日・令和3年3月10日・6月9日改定)

- 一般医療との両立も踏まえ、感染状況に応じた病床の運用を図るため策定した計画。  
(宿泊療養施設確保計画含む)
- 各医療機関は、病床確保計画に基づき病床を運用。
  - ・フェーズ切替の際は、大阪府から各病院に通知。
    - ※フェーズ引き下げの際に伴う運用病床数の変更については、各医療機関において、入院状況や病床の可変運用への対応の可否を踏まえ、判断。

## ● 確保計画における設定病床数の推移

		7月10日	10月14日	3月10日	6月9日	7月〇日
重症	設定病床数※1	215床	215床	221床	500床※2	580床※2
軽症 中等症	設定病床数※1	1,400床	1,400床	1,800床	3,000床※2	3,000床※2

※1：計画の最大フェーズの目標として設定した病床数

※2：災害級非常事態として設定した病床数

## ● 病床確保計画<改定>見直しのポイント

### <病院において確保している病床の運用にかかる基準の改定>

- フェーズ毎の確保病床数  
各病院のフェーズ毎の確保病床数の総数を基本に見直し
- フェーズ切替の移行基準  
確保病床数を踏まえ、判断基準を見直し

# [改定前(参考)] 令和3年6月9日に改定した病床確保計画

## 【重症病床】

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数 (ただし、 <b>今後の感染予測・病床運用率を踏まえ総合的に判断</b> )	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	90床	およそ54人(病床数の60%)以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	160床	およそ112人(病床数の70%)以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ54人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	250床	およそ175人(病床数の70%)以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ112人未満 ⇒フェーズ2移行準備
非常事態 (フェーズ4)	350床	—	およそ175人未満 ⇒フェーズ3移行準備
災害級 非常事態	500床 (目標)	—	—

## 【軽症中等症病床】

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数 (ただし、 <b>今後の感染予測・病床運用率を踏まえ総合的に判断</b> )	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	1,000床	およそ600人(病床数の60%)以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	1,700床	およそ1,190人(病床数の70%)以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ600人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	2,000床	およそ1,400人(病床数の70%)以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ1,190人未満 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ4	2,350床	—	およそ1,400人未満 ⇒フェーズ3移行準備
災害級 非常事態	3,000床 (目標)	—	—

## [改定案] 重症病床 病床確保計画

### 【フェーズの考え方】

- フェーズ移行の準備期間を概ね 1 週間とし、移行基準を設定。
- フェーズの移行については、入院患者数を基本に、感染予測と病床運用率、新たに確保した病床の一部が院内重症化患者対応用であること等を踏まえ総合的に判断。**
- フェーズ 3 までを一般医療との両立が可能な運用フェーズとして設定。

下線：改定にかかる変更箇所

運用 フェーズ	病床数※	フェーズ移行の基準となる入院患者数	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ 1	<u>150</u> 床	およそ <u>90</u> 人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ 2 移行準備	—
フェーズ 2	<u>230</u> 床	およそ <u>161</u> 人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ 3 移行準備	およそ <u>90</u> 人未満 ⇒フェーズ 1 移行準備
フェーズ 3	<u>320</u> 床	およそ <u>224</u> 人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ 4 移行準備	およそ <u>161</u> 人未満 ⇒フェーズ 2 移行準備
<b>非常事態 (フェーズ 4)</b>	<u>420</u> 床	<b>およそ<u>294</u>人（病床数の70%）以上 ⇒災害級非常事態 移行準備</b>	<b>およそ<u>224</u>人未満 ⇒フェーズ 3 移行準備</b>
<b>災害級 非常事態 (フェーズ 5)</b>	<u>580</u> 床	—	およそ <u>294</u> 人未満 ⇒フェーズ 4 移行準備

※大阪コロナ重症センターについては、当面の間、感染収束期は 5 床から10床の運用とし、感染拡大に応じて最大30床まで運用。  
(フェーズ 3、4、5 の病床数には「大阪コロナ重症センター」30床含む)

## [改定案] 軽症中等症病床 病床確保計画

### 【フェーズの考え方】

- フェーズ移行の準備期間を概ね 2 週間とし、移行基準を設定。
- フェーズの移行については、入院患者数を基本に、感染予測と病床運用率等を踏まえ総合的に判断。**

下線：改定にかかる変更箇所

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ 1	<b>1,100床</b>	およそ <b>660</b> 人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ 2 移行準備	—
フェーズ 2	<b>1,700床</b>	およそ <b>1,190</b> 人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ 3 移行準備	およそ <b>660</b> 人未満 ⇒フェーズ 1 移行準備
フェーズ 3	<b>2,000床</b>	およそ <b>1,400</b> 人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ 4 移行準備	およそ <b>1,190</b> 人未満 ⇒フェーズ 2 移行準備
フェーズ 4	<b>2,350床</b>	およそ <b>1,645</b> 人（病床数の70%）以上 ⇒災害級非常事態 移行準備	およそ <b>1,400</b> 人未満 ⇒フェーズ 3 移行準備
災害級 非常事態 (フェーズ 5)	<b>2,500床</b>	—	およそ <b>1,645</b> 人未満 ⇒フェーズ 4 移行準備

**災害級非常事態に備え、引き続き、3,000床の軽症中等症病床の確保に取り組む。**

## 【改定前（参考）及び改定案】 宿泊療養施設確保計画

### 【〔改定前（参考）〕 令和3年6月9日に改定した計画】

運用 フェーズ	部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	800室	およそ240人以上 ⇒フェーズ2 移行準備	-
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上 ⇒フェーズ3 移行準備	およそ240人未満 ⇒フェーズ1 移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200人以上 ⇒フェーズ4 移行準備	およそ800人未満 ⇒フェーズ2 移行準備
フェーズ4	4,000室	-	およそ1,200人未満 ⇒フェーズ3 移行準備

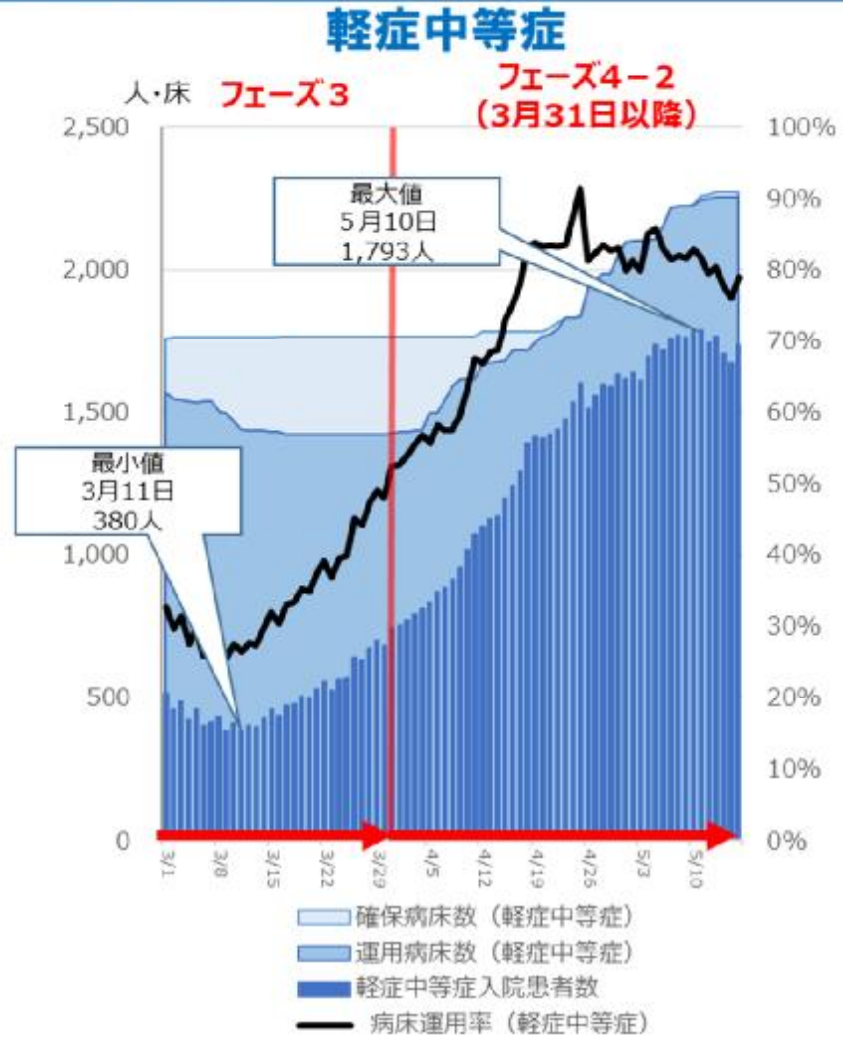
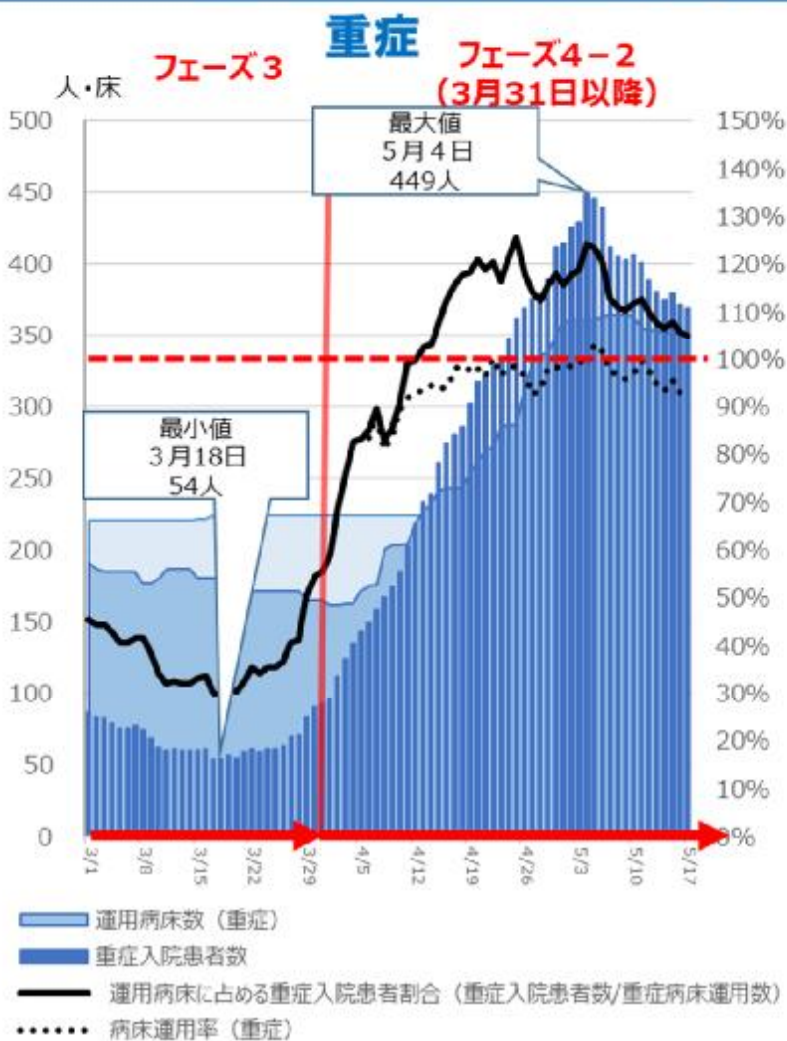
### 【改定案（フェーズの考え方）】

- 第四波での確保実績、変異株の影響や原則宿泊療養とする療養体制の強化を図ることを踏まえ、部屋数等を設定。
- 宿泊施設については、その確保及び稼働に一定期間要することなど運用上様々な制約があるため、フェーズの移行については、療養者数の増加に対して早い段階での移行が必要。（療養者受入のためのホテルの準備期間は2週間程度）

下線：改定にかかる変更箇所

運用 フェーズ	部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	800室	およそ240人以上 ⇒フェーズ2 移行準備	-
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上 ⇒フェーズ3 移行準備	およそ240人未満 ⇒フェーズ1 移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200人以上 ⇒フェーズ4 移行準備	およそ800人未満 ⇒フェーズ2 移行準備
フェーズ4	4,000室	およそ2,000人以上 ⇒フェーズ5 移行準備	およそ1,200人未満 ⇒フェーズ3 移行準備
フェーズ5	<u>6,000室</u>	-	およそ2,000人未満 ⇒フェーズ4 移行準備

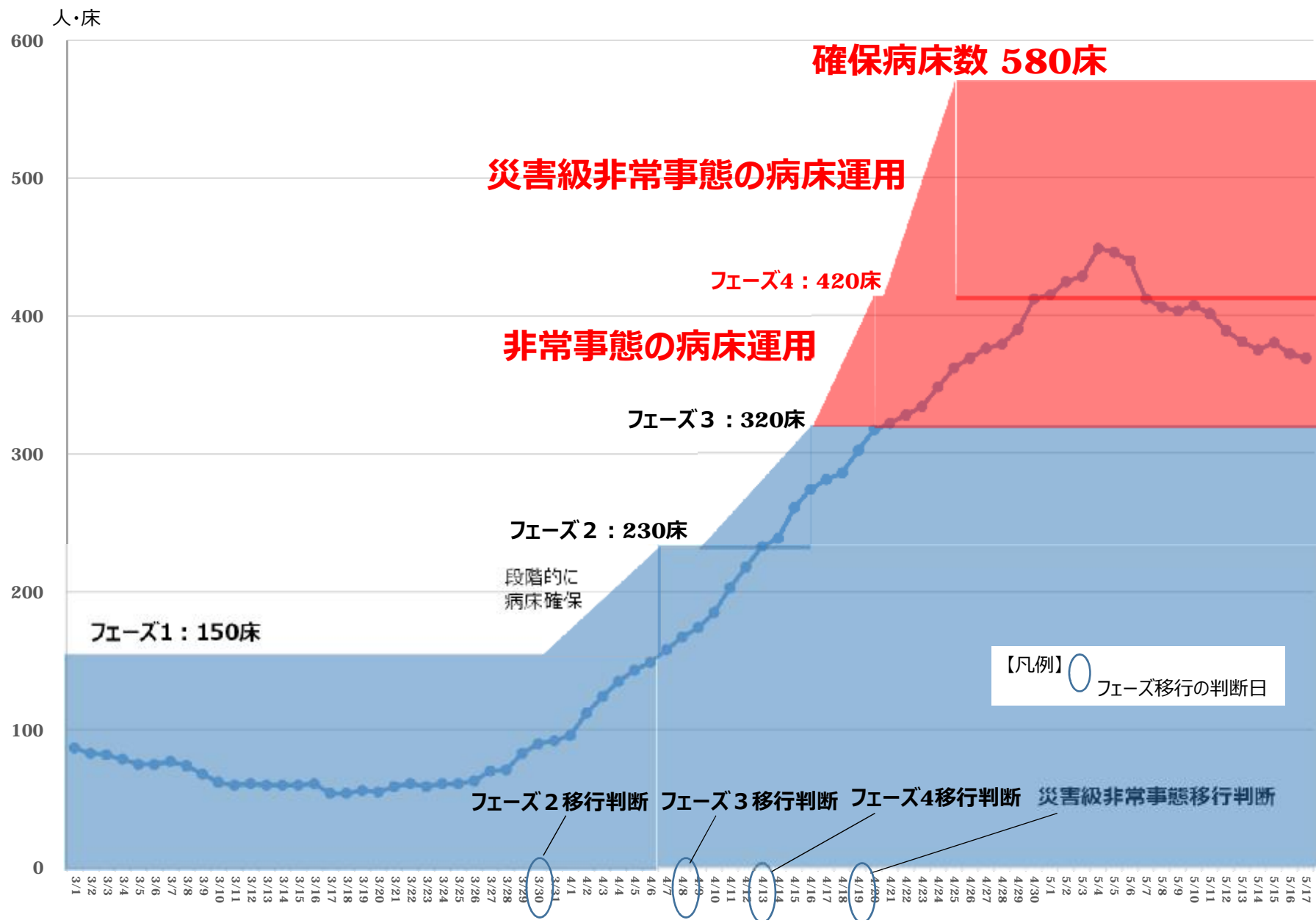
# 【参考①】第四波における入院患者数と運用数病床の推移



## ○感染拡大時の入院患者数

	1週間当たり増加数の最大値 (前週の同曜日からの増加数)	1日当たり平均増加数 (前日からの増加数)	最小値から最大値までの 1日当たり増加数
重症	100人 (4月9日と4月16日の差)	14.3人	8.4人 (47日間で395人増加)
軽症中等症	316人 (4月11日と4月18日の差)	45.1人	23.6人 (60日間で1,413人増加)

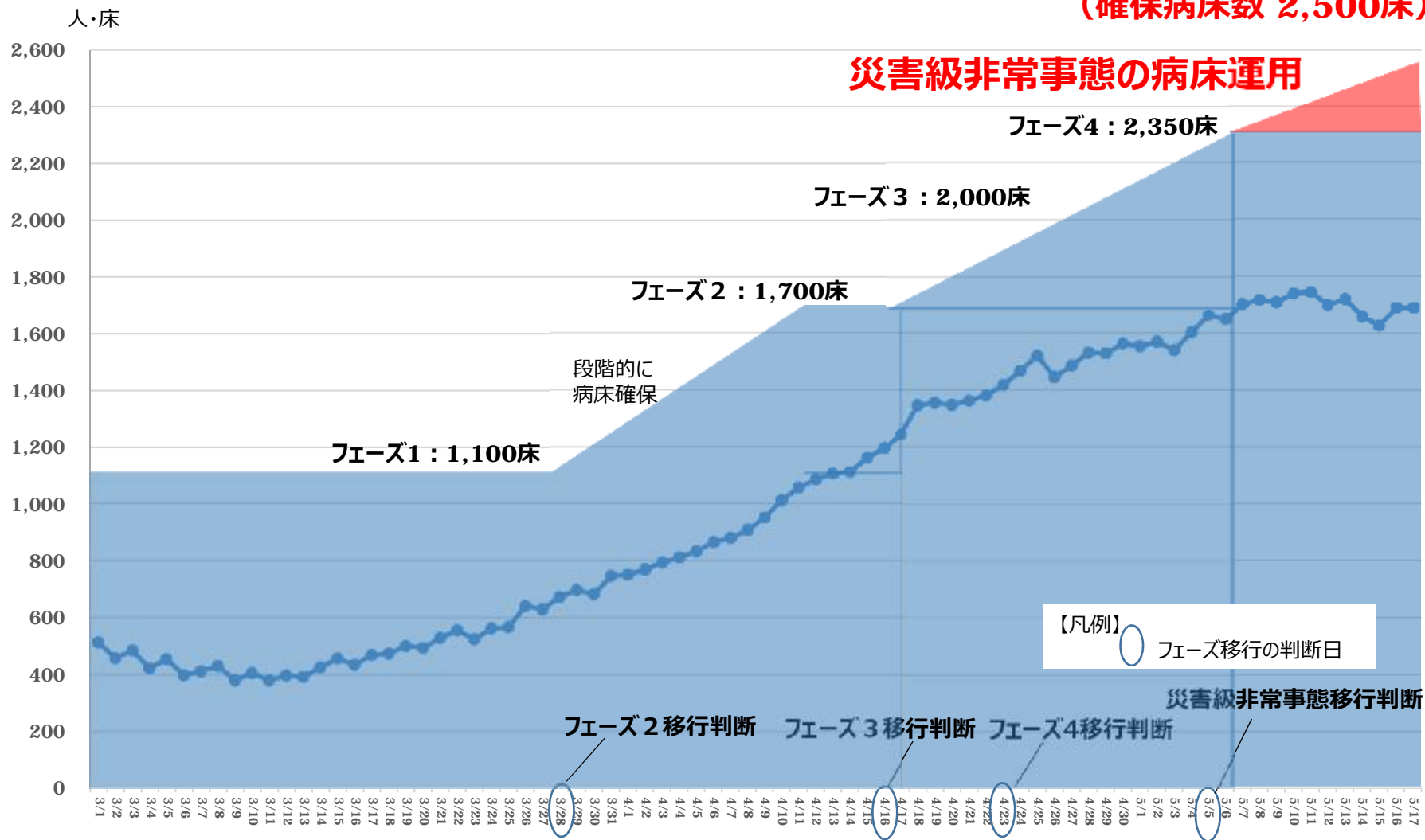
# 【参考②】重症病床 改定後の計画により第四波に対応した場合





# 【参考③】軽症中等症病床 改定後の計画により第四波に対応した場合

**目標 3,000床**  
**(確保病床数 2,500床)**



# 【参考④】宿泊療養施設 改定後の計画により第四波に対応した場合

